

2017年8月21日

報道関係者・刊行物編集者各位



(公財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



第27回鳥学講座 開催のお知らせ

(公財) 山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館では、ジャパン・バード・フェスティバル2017(11月4日(土)・5日(日)、我孫子市内)にあわせ、下記のとおり「第27回 鳥学講座」を開催します。貴媒体の紙面・番組でご紹介いただけますようお願いいたします。

「夢を運べ、北の島から日本の空へ -絶滅から復活への道を歩むシジュウカラガン」

講師：呉地正行(くれち・まさゆき) 日本雁を保護する会会長

日時：平成29(2017)年11月4日(土) 午後14時30分~16時00分
(開場 14時00分)

場所：アビスタ(我孫子市生涯学習センター) ホール(定員：120名)
千葉県我孫子市若松26-4

会場までの交通：JR常磐線 我孫子駅南口から「アビスタ・市役所経由」のバス
でアビスタ前下車すぐ。

参加費：無料(事前の申込みは要りません)

主催・問い合わせ：我孫子市鳥の博物館(電話04-7185-2212)、
(公財)山階鳥類研究所(広報担当 電話04-7182-1101)

かつて大群が日本に渡来していたシジュウカラガンですが、20世紀初頭、繁殖地の千島列島に、毛皮を採る目的でキツネが放されたために激減し、日本への渡来もほとんどなくなってしまいました。1980年代に日本雁を保護する会を中心として始まったシジュウカラガンをよみがえらせようという取り組みは、国内外の様々な人々や組織を巻き込みながら進められてきましたが、この取り組みが近年実を結んで、現在は3000羽ほどのシジュウカラガンが北日本を中心に渡来するまでになっています。同会会長の呉地さんにこの取り組みの経緯と成果、さらに課題や教訓についてお話しいたします。

2017年8月21日

報道関係者・刊行物編集者各位

鳥学講座は「ジャパン・バード・フェスティバル2017」（11月4日（土）、11月5日（日））にあわせて開催します

鳥学講座 （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館が年に1回開催する講演会で、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらいます。平成4（1992）年の第1回から、今年で27回目を数えます。平成13（2001）年にはジャパン・バード・フェスティバル（JBF）が始まり、その年（第11回）からはJBFにあわせて開催しています。

ジャパン・バード・フェスティバル （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館の地元、我孫子市で年に1回開催される鳥と環境保護のお祭りで、今回で17回目を迎えました。我孫子市、我孫子市教育委員会、（公財）山階鳥類研究所、日本鳥類保護連盟ほか、NPO、団体、企業等が参加する実行委員会（実行委員長：奥野卓司・山階鳥類研究所所長）が主催しています。

【参考リンク】

ジャパン・バード・フェスティバル <http://www.birdfesta.net>

（公財）山階鳥類研究所 <http://www.yamashina.or.jp/>

我孫子市鳥の博物館 <http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/index.html>

この件についてのお問い合わせ先

（公財）山階鳥類研究所
広報コミュニケーションディレクター
平岡 考
tel: 04-7182-1101
e-mail: koho@yamashina.or.jp